

第3回伊勢原市男女共同参画プラン策定委員会 会議録

〔事務局〕 人権・広聴相談課

〔開催日時〕 令和4年11月4日（金曜日）午後4時～午後6時

〔開催場所〕 伊勢原市役所 3階 全員協議会室

〔出席者〕

（委員） 和田委員、川畑委員、紫牟田委員、早川委員、畠中委員、丹野委員、山崎委員、石委員 8名

（事務局） 人権・広聴相談課長、ほか2名

〔公開可否〕 公開

〔傍聴者数〕 0人

〔配付資料〕

資料1 第3次伊勢原市男女共同参画プラン（素案）

<資料番号なし>

男女共同参画社会を考える情報誌 ききょうフォーラム通信 第63号

《審議の経過》

1 議題

（1）第3次伊勢原市男女共同参画プラン（素案）について

- ・資料1について、施策の方向ごとに事務局より説明し、今後の取組の方向性等について協議した。

※主な意見・質疑の内容は別紙のとおり。

以上

議題（１）第３次伊勢原市男女共同参画プラン（素案）について

ア 施策の方向１ 男女共同参画の理解の促進

【主な意見】

●いせはら男女共同参画フォーラムの開催に伴い行うアンケートなどで得られた意見等は、きちんと数値化して、今後に生かしてほしい。講演のカテゴリに応じて、各施策へ意見等を反映してもらいたい。
●フォーラムのアンケートを始め、調査・研究した内容を市民や市の各担当部署へフィードバックして、啓発等が進められると良いと思う。
●男女共同参画に関する調査・研究体制の構築の目標値欄が「体制構築」となっているが、「２年目までに体制構築」や「３年目：運用」「４年目：改善」といった、段階を踏んでみてはどうか。

イ 施策の方向２ あらゆる分野における女性の参画・活躍の推進

【主な意見】

●女性や子育て家庭に配慮した避難所運営に関わる調査研究では、グランドデザイン等を議論していくが、取り組む中で良いものができても、予算がないので実行できない、となることが心配である。取り組むことを見据えた予算の確保をしてほしい。
●審議会だけではなく、市職員の女性の割合を目標値にしてはどうか。

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	現在の防災担当部署の女性職員の配置状況は、どうなっているか。	<p>防災担当部署は危機管理課で、女性は、事務を担当する会計年度任用職員が１名所属している。</p> <p>正規女性職員の配置については、議会において議論されたこともあり、男女共同参画を推進する部署として、働きかけが必要であると考えている。</p>

ウ 施策の方向3 男女が働きやすいワークスタイルの創造

【主な意見】

●「伊勢原市職員の仕事と生活の両立応援プラン」などの職場環境に関する情報を、市民に知らせ、身近に感じてもらえると良い。就活生は調べて、職場を選んでいる。活用やPRをもっとしてほしい。
●就労環境の整備に関し、子育てが一段落した世代や高齢者の就労機会の確保にも取り組んでもらいたい。また、保育サービスの実施に、こうした人材を活用してはどうか。
●保育士の人材確保について、保育所等自体が就労環境に関する各種認定等を取得することを支援して、環境を整備し、人材を確保できると良いのではないかと。認証取得段階ごとに、インセンティブのようなものも受けられると良いと思う。
●相談窓口を利用したとき、対象ではないと、話を聞いてもらえないときがあった。困りごとをとりあえず聞いてくれる部署がほしい。
●相談への対応は、個々のスキルによる部分がある。スキルがあるか、判定することも必要である。また、窓口対応のフローを明確にし、組織としての仕組みを整理することも必要かと思う。

エ 施策の方向4 家事・育児・介護を男女で共に担う環境の充実

【主な意見】

●「男の料理教室」に取り組むことも良いことではあるが、楽しく作っておいしかったでは意味がない。準備（買い物に行くこと）から、片付け（使った調理器具・食器をしまう）まで、フローのようにになっているプログラムが良い。関係団体と情報共有して、連携して取り組んでもらいたい。
●料理だけでなく、お裁縫やアイロンがけなどのちょっとした家事の講座があると良い。
●介護に関する相談は、もっと気軽にできると良い。月1回で良いので、駅の窓口センターで実施してはどうか。会社の帰りにちょっと相談したい、というケースもあると思う。
●介護に関する情報は、当事者にならないと調べないことがほとんどである。早いタイミングで、親がいくつぐらいになったらこんな準備をした方が良い、と情報提供してほしい。
●男性からの、介護に関する相談は、多くないのではないかと。相談しやすい時間や場所等の環境を整え、男性に向けた広報にも取り組んでほしい。

【質疑応答】

No.	質問	回答
1	施策の方向に「育児を男女で共に担う」とあることから、男性の育休取得に関する事業は、施策の方向4に入ると思ったが、入っていないのはなぜか。	男性の育休取得に関する事業は、施策の方向3に入れた。 施策の方向3にて、就労環境を改善していく中で、男性の育休取得に関する事業に取り組んでいきたい。

オ 施策の方向5 心身の健康支援と男女の性差に関する理解の促進

【主な意見】

- 主な課題に記載されているジェネレーション毎の教育や支援に対応する、主な事業が入っていないようだ。ちょっとした相談を受けることのできる窓口を設けたり、電話相談などに取り組んだりにはできないか。病院などと連携して、相談を受け付けしてもらうのも良いのではないか。
- 健康支援に関する情報提供について、提供するだけでなく、市には保健師もいるので、相談や助言もしてほしい。
- 先日、被験者として文化会館で行われたコホート研究に関する事業に参加した。こういった他機関との連携事業について、主な事業に入れてみてはどうか。
- 小中学校での性教育について、保護者などの大人に向けた情報提供があると良い。家庭の中で話題にできるきっかけがほしい。

カ 施策の方向6 あらゆる暴力の根絶

【主な意見】

- DVに関する啓発は、目立つものがないように感じている。パープルリボンなどの紫色のものの着用やパープルライトアップの実施、ホームページを紫色にするといった、費用がかからない、でも、目を引くような啓発に取り組んでもらいたい。
- DV被害者の安全確保に関し、災害などが起きて避難したときの個人情報の取り扱いや避難所の分離等についても、支援措置担当課とともに検討してもらいたい。
- 高齢者や障がい者の虐待に関しても、介護者や養護者からの相談を受け付けることや助言をきちんとしてほしい。

キ 施策の方向7 困難を抱えた人に対する支援

【主な意見】

- 目標値の「生活困窮状態が改善」という表現について、自立していない人が自立したという視点より、生活が安定したかどうかという視点で見てもらいたい。

ク プラン（素案）全体について

【主な意見】

- いろいろな困りごとが関連しあっているため、総合窓口を設置し、まずは話を聞いてほしい。そこから専門相談の必要な人は、振り分ければ良いと思う。
- 素案を見て、計画がパターン化しているように感じた。具体的な取組を、強調できると分かりやすくなると思う。
- 国際的な流れもあるので、SDGsや子どもの人権宣言などに関する文言が入ると良いと思う。